

うきは市議会だより



令和8年11月1日／令和8年9月議会号 No.87

9月定例会レポート

総括質疑

令和7年度

決算審査概要は

これだ!

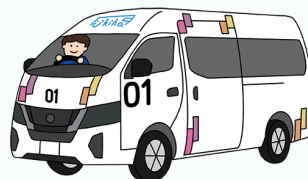
世界王者誕生。
うきは市から、
世界の頂きへ。

議長以外、
全員が一般質問へ!

【人口】26,603人【世帯数】11,588世帯
(令和8年9月末現在)

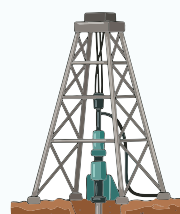
『のーと うきは』一部見直し、 本格運行スタートしました

市バス事業の設置等に関する条例の一部を改正（10月1日施行）。
中学生・高校生も、小学生と同じ料金で乗車可能となりました！
障がい者本人だけでなく介護人又は付添人も同額料金となりました。（条件あり）



井戸掘り替え工事に対する補助金

予算額を1050万円追加に。
令和8年4月～8月末までに15件が施工。
今後も引き続き25件が実施予定。
一般世帯補助率：1/2以内(上限30万円以内)



人権擁護委員の推薦・承認について

すぎ たかのぶ さとう よしこ
● 杉 孝信さん ● 佐藤 美子さん



議案番号	内容	審議結果
議案第62号	一般会計歳入歳出決算の認定	認定
議案第63号	国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定
議案第64号	後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定
議案第65号	市立自動車学校特別会計歳入歳出決算の認定	認定
議案第66号	簡易水道事業会計決算の認定	認定
議案第67号	下水道事業会計決算の認定	認定
請願第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する請願／総務産業常任委員会にて審査	採択
請願第2号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2027年度政府予算に係る意見書採択の請願について／厚生文教常任委員会にて審査	採択
陳情第2号	市議会議員時代における市民活動団体兼業および市議会基本条例に関わる問題の調査と、現市長の立場の明確化を求める陳情書／議会運営委員会にて審査	不採択
陳情第3号	非核三原則の堅持を求める意見書提出に関する陳情／総務産業常任委員会にて審査	採択



全員協議会報告

議案等の審議結果

空き家の管理と固定資産税について

住宅の敷地は、固定資産税が軽減されています。
しかし、管理が不十分な空き家は軽減の対象から外れる場合があります。

住宅用地の区分と固定資産税の軽減内容

- 小規模住宅用地(200㎡以下部分) → 固定資産税の課税標準額を1/6に軽減
- 一般住宅用地(200㎡を超える部分) → 固定資産税の課税標準額を1/3に軽減



／中学生対象／

冬休み公設塾に対する主な質疑！

① どんな塾？

1・2年生6日間（50人）／3年生10日間（30人）。オンライン方式、5教科。生徒は自宅で受講。初めの1～2日は、るり色ふるさと館で市職員がサポートし、それ以降は自宅で受講。受講料無料・テキスト代を個人負担。（定員以上の申込みの場合は柔軟に対応）

② 授業を受けた後の質問等のフォローは？

教科は日程が決まっている。質問専用の時間を別途設定。チャットでの質問が可能。

③ 情報発信の方法や、申込み時期は？

中学校を通して、調整していく予定。

④ 『物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金』は財源として適切なのか？

「物価高騰で塾に通わせられない」という意味で物価対策と言える。

⑤ 地元の塾とはどのような調整を行った？

市内に塾は沢山あるため、実施するのであれば調整はしてもらいたい。

今回はオンラインで開催のため、市内の塾では対応が難しいと判断し、民間塾とは調整を行っていない。対面ではなくオンラインでの実施であり、なおかつ冬季講座に限っているため、民業圧迫とはならないと判断した。

⑥ 行政が塾を開設する効果の確認や、次年度の事業継続の判断は？

保護者や子どもたち、先生方へのアンケート、生の声を直接聞き成果と課題、改善点を整理する。

⑦ なぜ夏ではなく冬での実施なの？

夏から検討を始めた。応募人数や、実施後のアンケートに好評な意見があれば、夏の講座も考えている。範囲を小学生に拡大することや、平日での実施も検討。

⑧ 事業者はどのように決めるの？

市の考える内容でオンラインが可能であり、今からの契約で冬休みに向け10月中旬からの募集開始が可能な事業者との随意契約。

附帯決議付き可決！

●公設塾業務委託料（190万円）は附帯決議（可決するが、意見・要望付き）となりました。

- ①民業圧迫にならないような配慮及び効果の検証を。
- ②公平性を保つため、事業者選定は企画競争方式を用いるべき。
- ③提案するにあたり、もっと余裕を持ったスケジュールを。



令和7年度決算 全会一致で 認定!



決算特別委員会って?

(What?)

「前年度の決算」が議会へ提出され、その認定審査のために設置される委員会（例年9月に実施）です。予算の無駄づかいがなかったか、使い方に問題がなかったかを質疑します。議員からは翌年度以降の予算に活かすため、「ここは良かった」「ここは改善が必要」など意見します。

質問・意見が出た分野の指摘事項は何だった?

地域コミュニティ

- Q 会長や事務局長の「次のなり手」がない。自治協議会を中心に地域活性化をはかるなら、今後の方向性は?
- A 持続可能な組織の在り方について、行政内部で話し始めている段階にある。また、区長も含め、担い手が減っている。役職についても減らしていくことを考える時期。
- Q 女性役員登用でインセンティブを付けたり、自治会合併に対して補助金制度を作っている自治体もあるが?
- A 先進事例について情報収集を行い、担い手不足に対応できるような方向性を検討したい。

消防団活動や防犯

- Q 消防団員報酬は予算に対して実績額が少ない。何か理由は?
- A この中に出動報酬が含まれるのだが、令和7年度は大きな災害が少なかった。なお、団員数は438名。500名という定員数に対し大きく割り込んでおり、継続的な課題。
- Q 消防団に対し、災害時、あるいは完全消火に至るまでの待機の際の食糧費は出さないのか?
- A 現在は出していない。待機している分については、警戒手当等を活用してもらう。
- Q 詐欺被害に対する具体的な対策は?
- A 大きなイベントなどでも周知していきたい。「固定電話で国際電話を拒否する」等の周知をしていく。

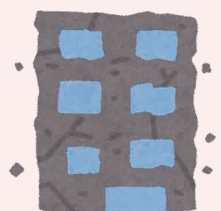


公共施設の「その後」

- Q 浮羽町の旧御幸コミュニティセンター売却についての進捗は?
- A 道路拡幅などがあり、今は一旦中断している。諸条件を整理し、改めて検討していきたい。
- Q 市が持っている普通財産で売却予定のものはあるのか?
- A 今のところ大きな予定はない。
- Q 普通財産用の草刈り委託料で、普通財産である旧浮羽東高校の跡地の草刈りはできないのか?
- A ルリー口福岡と20年間の無償賃貸契約を結んでおり、管理等はルリー口福岡が担うことになっている。市としては可能な範囲で協力。

公営住宅

- Q 公営住宅の入居率が、著しく低いところは検討していくべきでは? (屋形町は除却予定、西隈上は建替え中)。
- A 老朽化のため、新規入居を停止している団地もある。
- Q 西隈上団地整備事業について、近年の資材高騰の中で建設が始まるが、物価が上昇したらどうするのか?
- A 物価変動率が一定の基準を超える場合、「物価スライド」として物価変動率による調整を行うことを契約で規定している。全体として抑えられるよう、事業の中で見直す部分もあるかと考えている。



今後の公立保育園

Q 配慮を必要とする子どもたちはどうしているのか？

A 令和7年の障がい児の受入れは合計7名受入（公立4・私立3）。

Q 休園している山春保育所のその後については？千年保育園は将来的に民間へという話もあるが？なぜ千年なのか？

A 山春については児童数回復の見込みがないため、閉園手続きを行っていく。
千年については、現在ゼロ歳児保育を行っておらず保護者負担が大きい。
今から地域、保護者から意見を聴いていく。今後については再編の検討が必要だが、現時点で決定していることはない。

Q 保育士確保が課題だという声があがっているが？

A 現状は不足というほどではない。保育士確保に向けて各種支援を行っている。
また、システム化することで業務効率改善に努めている。



ふるさと納税メニュー

Q 企業版ふるさと納税のラグビータウンプロジェクト分の各年度の金額は？

A 以下のとおりである。

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1,060万	1,640万	2,830万	7,030万	3,960万	(円)



県産共通返礼品って？

Q 他の企業版ふるさと納税の取組について、どう進めていくのか？

A 令和8年度からは企業訪問をし、営業活動を行っていく。

Q ふるさと納税に専従してもらう地域おこし協力隊を採用しては？

A 今年度募集をし、ふるさと納税の分野でも活動していただきたいと考えている。

Q フルーツ以外の返礼品の掘り起こしは？

A 体験型返礼品の拡充なども考えている。返礼品事業者を訪問し、コミュニケーションづくりをはかっている。
県産共通返礼品の取扱いについても進めている。

移動販売車

Q ガソリン代など高騰している中、移動販売車についてはどう支援を考えているのか？

A 年4回協議会を開催し、意見等をヒアリングし、情報共有している。補助金の増額について検討していきたい。

Q 当初から取り組んでいる事業者は車両が限界に近い。買い替えについて補助制度のある自治体はほぼないが、何か考えは？他自治体では自治体が購入し、それを貸与する、あるいは商工会や自治協議会に補助金を交付し、事業者が運行するという形もあるが？

A 各省庁の補助金に該当するものがない。現在、情報収集をしている。



住民健診・特定健診

Q 若い人の健康診査の受診率が低い。また、1日当たりの歩行数について福岡県ワースト1位、さらに1人あたりの医療費についても全国自治体で59位だったが？（厚労省令和5年度調査）

A 受診率の低下については課題だと認識している。しかし働いている方は会社の定期健診を受診されているため、住民基本健診を受けていないという可能性が高い。運動不足、野菜摂取量不足、飲酒過多、睡眠不足の住民が多く、結果として生活習慣病の発病、医療費の押し上げにつながっていることが課題。啓発活動に努めていく。



市長に対する 総括質疑



飯田議員

- Q** 交通安全対策を考えるべきではないのか。
- A** 交通安全対策費234万円を使って、十分に取り組んでいる。
- Q** 大きな交通事故が起きる前に、交通安全対策協議会を開催すべきではないのか。
- A** 当該協議会はあくまで重大事故があったときに、事後の対策を考えるための協議会である。



今村議員

- Q** 令和7年度決算では、かわせみホールの維持管理に約1,890万円もの費用がかかっている。抜本的な改修や利活用の方向性について早急な判断が必要では。
- A** 新たな公共施設等総合管理計画等において、今後の方向性を示していく。
- Q** 長時間労働が特定の部署・職員に偏っている。職員定数が足りていないのではないのか。専門人材でもある地域おこし協力隊等の活用はできないか。
- A** 業務が多様化、複雑化しており、民間活力、専門人材の確保のため、見直し柔軟に対応していく。



佐藤議員

- Q** 保育所を民営化する際、どこかの保育所を民営化するのか。選定基準を明確にする必要があるのではないのか。
- A** 選定基準については、担当課や保育関係者との話し合いの中で様々な観点から考えていく。



野鶴議員

- Q** 自治協議会の役割は増大し、担い手不足は深刻である。もっと事務局長の給与や運営補助金等の増額はできないのか。
- A** 毎月自治協との協議は行っている。その中で要望があれば、検討していきたい。
- Q** 高齢者等見守り事業にかかる移動販売事業者への補助金見直しはできないか。
- A** 移動販売事業者と協議し、支援を行いたい。

総括質疑とは？

(What?)



決算審査最終日、市長や教育長に対し5日間の各課・各係の決算審査で不十分だった回答や今後の市政に関する根本的な方針・計画などを質疑するものです。



石井(孝)議員

- Q** 一部の街路灯やスポーツ施設では、水銀灯が使用されており、電気代も高くLED化を進めるべきではないか。
- A** 粛々と行っていく。
- Q** 住宅使用料や保育料、下水道使用料等の徴収率も『成果表』に載せるべきではないのか。
- A** 今後検討する。



熊懷議員

- Q** 紙の商品券を市長はなぜやめたのか。高齢者の方から相談がある。プレミアム商品券を100%デジタル化するとスマホを使えない高齢者が買えず客足が大型店に流れて地元商店が大変困る。他自治体のように紙の商品券を併用し、デジタルが苦手な人への救済策を講じてすべての市民と地元経済を守る柔軟な対応を求める。
- A** 主体は商工会なので伝えるが、紙の商品券についても考えてもらう。



高木議員

- Q** 安心安全な保育という目的に向け、保育士の正規職員・会計年度任用職員が不安なく職務に専念できるよう、どのような人事のフローを描いているのか。職種変更等の不安の声が届いている。保育士が自信をもってジョブローテーションに臨める体制にしてほしい。
- A** 公立は1園以上残す形で、基本的には保育士業務を念頭に置いているが、異動等は発生しうる。市の保育行政を支える職種に就く方が出ることも願っている。

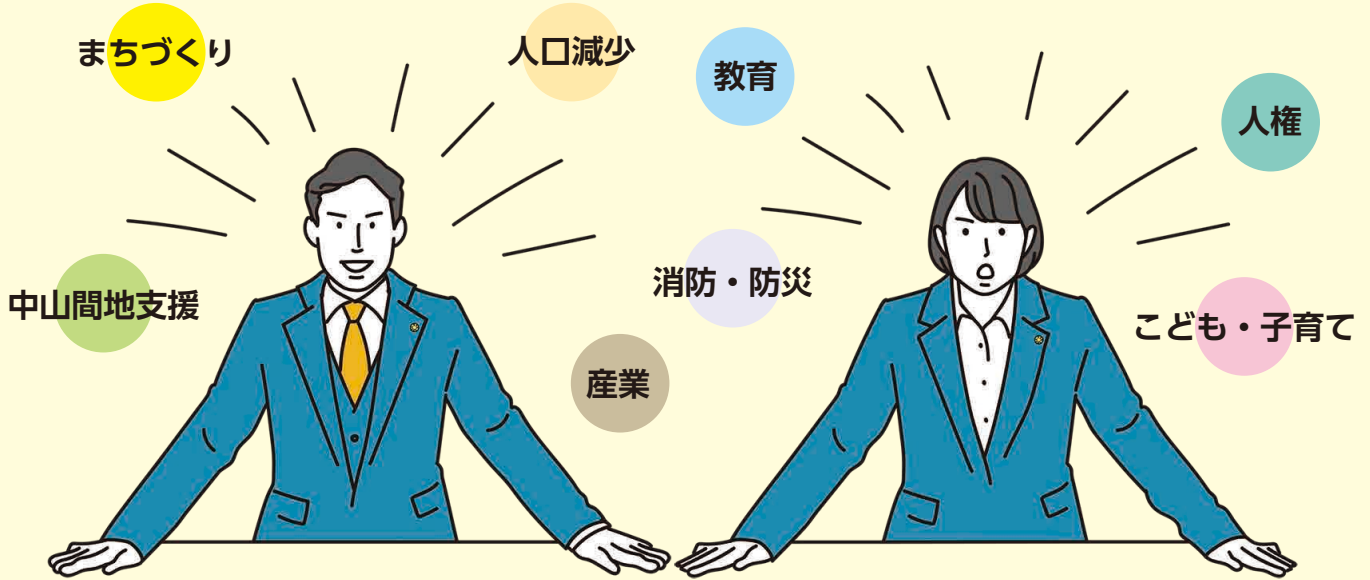


徳永議員

- Q** 県からの宿泊税交付金の利用について、基金積立てではなくダイレクトに交付金を使い観光客増をねらうてはどうか。
- A** 宿泊税の交付金は広く観光に使うことが可能であるため、今後の計画において大きな金額が必要になった時のために積み立てておく。

13人による一般質問っ!

9月議会では…



一般質問とは、各議員それぞれの視点で『わがまちの困りごと』を明らかにしたり、『この政策に取り組むとこうなるのでは?』という政策提案がされる機会なのです!

市長 市独自の乗せ額を4000円から5000円に増額したが、

吉瀬 捕獲報償費について、特別交付税措置を活用し、更なる増額を図る考えはあるか伺う。

市長 駆除班は平均年齢78・6歳である。運搬及び個体処理の一部を委託し、活動を継続しやすい環境づくりに取り組む。

吉瀬 駆除班等の高齢化を踏まえ、少数の担い手に依存する体制を市の仕組みでどう支え、次世代へ継承するか伺う。

市長 被害額は約2000万円の高い水準で推移し、カラスが最も大きい。イノシシ捕獲は約70%減少し、豚熱の影響と思われる。

吉瀬 被害額と捕獲頭数の推移と要因、イノシシ捕獲減と豚熱の影響、カラス等鳥獣対策について伺う。

特定の捕獲従事者だけに依存しない、持続可能な捕獲体制の構築に取り組む



きちぜしんたろう
吉瀬 晋太郎
議員

次世代へつなぐ
持続可能な鳥獣被害対策を

【カラスの被害額】
(鳥獣別で最も大きい)

807万6千円

令和7年度・鳥獣別で最大

【イノシシ捕獲数】
(頭)

598 → 179

令和6年度 令和7年度

約70%減・豚熱の影響か

▲カラス被害が最大、イノシシ捕獲は約70%減

その他の質問

▼空き家対策と民間企業との連携について

市長 被害額は約2000万円の高い水準で推移し、カラスが最も大きい。イノシシ捕獲は約70%減少し、豚熱の影響と思われる。

吉瀬 報奨金の増額だけで捕獲活動に伴う負担が解消されるものではない。ICT機器の導入と支援の進捗、朝倉広域協議会を活用した広域導入の考えはあるか伺う。

市長





すやま さとみ
須山 聡美
議員

果樹盗難に対して
防犯カメラやわな線など
防犯設備のうきは市の支援は



市と警察とJAの連携によるパトロール
防犯カメラ設置や導入支援を進めている

市長

須山 収入保険について、柳川市などの先行事例がある。市としても保険料の全部・一部を補助しては。

市長 現状考えていない。農業者への周知、防犯対策強化に努め、生産基盤強化や担い手確保、農産物の高付加価値化など産地全体に広く効果が及ぶ取組を推進する。

須山 農家に合った支援要件見直しや防犯用に侵入防止柵が購入できるよう例外規定を適用できないか。

市長 現場の実情や農業者の要望を把握し、必要な要件見直しは国へ働きかける。一方、鳥獣害防止制度を盗難防止目的の侵入防止柵整備への活用は、制度上厳しい。



▲フルーツ王国うきはで安心して営農できる環境を

▼子宮頸がんワクチン接種普及推進について

その他の質問

須山 フルーツ王国うきはの農家さんが、盗難や害獣被害を心配せずに安心して営農を続けられる環境づくりを進めてほしい。

市長 車が入れない柵の設置は一定、慎重な検討が必要だ。農林振興課で地元の声を聞きながら、研究を進めていく。

でなくセンサーや柵なども対象としてほしい。



すえかね よしゆき
末金 良幸
議員

美津留川の
河川整備について



市としても県に対し
河川整備の要望を続けている

市長

末金 流域の区長14名の連名で8年続けて市を通じて河川整備の要望をしている。江南地区の住民は、市からの強力な働きかけを期待している。

市長 県内に58市町村があり、限られた予算の中で工事を割り振られている。今後とも県に対し内容の濃い要望が上がるのが、事業の進捗に関わると考える。

末金 今年7月5日の豪雨時、上古賀地区周辺が越水したが、その下流域は普通に流れていた。この状況について県の調査をお願いしたい。

市長 地元の継続的な要望が事業進捗に関わる。市も要望を続ける。

【中島畑の耕作放棄地】

末金 中島畑の耕作放棄地対策について市長の見解は。

市長 中島畑は筑後川の中州にあり、農地12.56haのうち約38%が



▲7月5日(美津留川流域)
上古賀区浸水被害

市長 スポーツアイランドは市の必要な施設であり、うきは久留米環境施設組合が所有する土地もある。機を捉えながら考えていく。

荒廃している。地域の特性や農地の状況を踏まえ在り方を考えていく。

末金 黒砂糖を作るグループがサトウキビ栽培をしている。また、スポーツアイランド、RDFごみ処理場建設予定地であった土地もある。今後の展望を聞きたい。



いしい しんいち
石井 信一
議員

農家が将来にわたって
持続可能となる取組や
農・商・工・観連携の取組は



関係機関と連携し、実情を踏まえ、
実現可能な取組から段階的に進めたい

市長

石井 農家が将来にわたって持
続可能となるための計画について
尋ねる。

市長 次の4つを重点課題とし
て挙げている。

○収益性の高い農業の実現と高付
加価値化

○多様な農業人材の確保・育成と
労働力支援

○有害鳥獣対策の強化

○農業生産基盤の維持・整備

石井 新規就農者の推進や雇用
確保の取組及び今後の計画につい
て尋ねる。

市長 就農から経営継承までの
支援や、農繁期の労働力確保を具
現化したい。

石井 県の高収益事業でのス
ピードスプレーヤー導入につい
て尋ねる。

市長 導入意向や経営面積、機種



▲スピードスプレーヤーで
散布中

や既存の状況を把握し、必要に応
じて県と協議をしたい。

石井 農・商・工・観連携の今後
の計画について尋ねる。

市長 連携を進め、各産業が相互
にメリットを生み出し、地域内で
経済が循環する仕組みへ発展させ
たい。

石井 市民や小中学校児童生徒
へ地域の魅力を知ってもらう取組
について尋ねる。

教育長 地域の歴史や魅力を学
ぶ授業や体験の取組、学んだこと
をまとめ保護者や地域の方に発信
している。



いいだ まさひろ
飯田 雅弘
議員

うきは森林セラピーの
在り方は



協会の活動は貴重な観光資源、地域資源と
考えている

市長

飯田 巨瀬源流の散歩道の復旧
工事予定は。

市長 年内の工事発注、年度内
の工事完成が目標。

飯田 市民の健康増進を目的と
した森林セラピーの活用は。

市長 保健課などとも話しなが
ら適切に活用を検討したい。

飯田 森林セラピーの将来像
は。

市長 森林サービス産業地域
の登録を目指し、価値向上に努
める。

**「スポーツアイランドの野球場
照明について」**

飯田 照明が点灯していない箇
所の修繕対応予定は。

教育長 現在、手配をしている。
準備が整い次第対応を行う。

飯田 ソフトボール場に照明の



▲スポーツアイランドの
野球場照明



▲巨瀬源流散歩道



たかき あきこ
高木 亜希子
議員

観光事業の推進と地域経済への波及、及び受入れ環境の整備について



地域の魅力を大切に幅広い旅行者を受け入れながら、質を高めていくことが重要

市長

高木 団体誘客助成事業の現状と地域全体に波及する仕組みづくりについては。

市長 8月現在で8社から申請。飲食や宿泊に加え、体験を補助対象に加えるとともに、組み合わせの場合などに加算するよう見直しを行った。市内を巡り地域で消費していただく旅行商品につながる、より効果的な制度となるよう取り組む。

ど、観光の質を高めていくことが重要。関係部署と連携をし、検討していく。

高木 うきは観光みらいづくり公社の営業力強化について。

市長 観光動態データの整理、分析にとどまっているため、今後は商品造成や営業活動につなげていくことが必要である。

その他の質問

▼ラグビータウンプロジェクトについて

▼新たな「水の基本計画」について

市長 地域に根差した人の技や営みそのものに着目し、うきはならではの体験や消費につなげていくことは、新たな観光資源として価値があるものと認識している。地域への負担にも配慮し、滞在時間や消費額、地域との交流な



団体誘客助成事業



▲うきはの豊かな自然も素敵な観光資源に



いしい たかゆき
石井 孝幸
議員

ルリー口福岡に貸している東高校跡地整備について



ルリー口福岡とは十分な協議には至っていない

市長

石井 6月の一般質問で東高校跡地は、ルリー口福岡と協議を継続していくとの答弁だったが、その後、どのような協議がなされたのか。

市長 現状として、十分な協議に至っていない。跡地の有効活用に向けて協議を継続していく。

石井 現状を見ると草や樹木は伸び、獣も住んでおり、防球ネットも破れ荒れ放題である。使用貸借契約では、市とルリー口福岡は、周辺環境への影響を十分留意しなければならぬと謳われていると聞いているが、管理がおろそかではないか。

市長 管理はルリー口福岡が行うことが大前提である。ルリー口福岡の企業姿勢、ガバナンスが問われているのではないか。市としては、高さのある樹木の伐採などについては、今後、専門事業者への委託も検討してまいりたい。

石井 早急に協議を進め、その協議内容を市民（特に隣接する19区、20区、竹重区）に知らせていただきたいが。

市長 ルリー口福岡と協議した結果、具体的なものが出れば、地元の皆様、関係者へお伝えする。

石井 校舎の解体など大きな費用が必要となる。財源として、ふるさと納税額（年額うきは市は4億円）で他市町村に比べると極端に少ない状況）10億円を目指し、財源としたら良いのではないか。



▲防球ネットは破れ、樹木も伸び、荒れ放題



いまむら きよし
今村 清
議員

車両の更新や修理等で
高額な費用を要する移動販売
事業者への支援は



協議会等で意見を伺い、
特に支援が必要な場合は随時検討する

市長

【大規模災害時の対応】

今村 福岡県の災害アクセスメン
トでは、災害時の避難者数の想定
が大幅に増加。避難所や備蓄品等、
大規模災害時の対応は万全か。

市長 避難所は36か所、一時的な
最大収容可能人員は17,130
人。大規模災害時の避難者数は
2000名を想定し、計画的な
備蓄を行っている。

今村 指定避難所のうきはア
リーナや小中学校体育館のエアコ
ン整備計画は。

市長 国費による半額補助を活
用し、国から示された期間内で空
調設備を整える。

【デジタル社会における高齢者 等への支援の必要性】

今村 のるーとうきはや、うきは
Payの利用に際し、デジタル機
器の活用には慣れない方等、



▲安心できる災害対応を

デジタル弱者・交通弱者等への支
援策は。
市長 のるーとうきは乗り方教
室や、うきはPayサポート相談
会を実施し、今後とも幅広い世代
が安心してデジタル技術を利用で
きる環境づくりに取り組む。
その他の質問
▼浸水災害区域・土砂災害区域
にある避難所の安全性
▼自助・共助意識の醸成、自主
防災組織の育成強化



さとう ひろのぶ
佐藤 裕宣
議員

ゴミ処理問題、
将来の見通しは



広域化に向けて取組を進めていきたい

市長

佐藤

耳納クリーンステーション
の使用期限について地元7行
政区のご理解を得て、更に10年間
の協定延長がまとまった。問題先
送りのための10年間はなく、次
の処理体制を決める10年間だと思
うが間に合うのか、見通しにつ
いて市長の認識を伺う。

市長 近隣で令和15年ぐらいか
ら建て替えを行う衛生組合がい
くつかある。そのタイミングに併
せられないかというような視点
も含めて具体的な目標をもって、
時間を大切に活用しながら取組
を進めていきたい。

佐藤 広域化の件はまだ不透明
な印象だ。当てがあるなら、あら
ゆるチャネルを使って積極的
に交渉を進め、早急に道筋をつ
けるべき。



◀耳納クリーンステーション
で製造される固形燃料



【水事業について】
佐藤 将来的な目標を設定し、
保全・利活用・リスク管理を一体
的に進めることが必要だと考え
るが。
市長 新たな協議体をつくって
水の専門家を中心として、様々な
議論をする形になろうかと思っ
ている。また、北海道東川町など
のロールモデルも参考にしたい。



たけなが しげみ
竹永 茂美
議員

2026年度の
小学校水泳指導の外部委託の
現状と課題について



うきはアリーナで4回2時間ずつ行った

教育長

竹永 3小学校の9月実施は季節のずれた水泳指導ではないか。

教育長 児童、保護者、教職員にアンケートを実施し改善する。

竹永 水泳指導や低学年の「水遊び」は十分できたか。

教育長 2コマの授業で、60分は泳いでいる。

【部活動等送迎の安全確保】

竹永 中学校部活動や社会体育での対外試合の送迎実態は。

教育長 部活動は市のマイクロバスや貸し切りバスを借り、練習試合は保護者送迎。社会体育は把握していない。

竹永 社会体育に対する支援策が必要ではないか。

教育長 他市町村の情報を確認し検討する。

【不登校児童の居場所づくり】

竹永 不登校児童と放課後デイ



▲『未来につなぐ私たちの水』に、水に囲まれたとてもしいうきは市とあるのだが、プールは？

▼通学路の安全確保について
▼介護保険の現状と課題について

その他の質問

教育長 市町村を参考に進める。

竹永 教職員の超勤をなくす公会計化を、市長就任の2024年6月議会で検討と答弁したが。

【給食費などの公会計化】

教育長 サービス等との連携は。学校以外の居場所づくりの選択肢と考える。



なかしま たかひで
中島 崇秀
議員

人口減少・少子化対策と
子育て支援の更なる拡充
について



既存事業の質を高めながら、引き続き包括的な子育て支援を行う

市長

中島 国の制度で行われている妊婦のための支援給付金を、うきは市独自に第2子・第3子以降で給付額を増額してはどうか。

市長 多子世帯の負担軽減という観点では、効果があるものと認識しているが、継続的な財源の確保が課題となる。

中島 ゼロ歳児からの保育料の完全無償化、自宅で育児をしている世帯への在宅育児支援金の創設を検討できないか。

市長 保育料の完全無償化は、継続的な財源の確保や保育士確保など新たな課題が出てくる。在宅育児支援金の創設も同様に財源確保が課題である。

中島 現在小学校3年生から英語が必修化されているが、うきは市では既に保育園から英語活動が行われている。ALTを増員し小学校1



▲こども、まんなか！

▼児童生徒の熱中症対策について

その他の質問

教育長 英語専科の先生の意見や、限られた授業時数の中で調整が可能ななど、学校現場の意見を基に慎重に検討する。



とくなが まりこ
徳永 真理子
議員

5歳児健診実施について、
本市の取組と進捗について
伺う



令和9年度の実施に向けて、
実施体制や健診内容について準備を進めている

市長

徳永 実施内容や重点事項はどのようになるのか。

市長 集団健診方式をとり、発達面・身体の状態・生活習慣・保護者の困りごとなどを総合的に確認する。

徳永 実施前後の連携機関の不足が懸念されるが。

市長 適切な療育支援や福祉サービスへつなげ、就学を見据えた準備を進めているところである。

徳永 市として発達専門のサポートチームを設置してはどうか。

こどもみらい課長 専門家を入れながら、フオローアップ体制を整えていきたい。

【浮羽町域3小学校の今後の活用について】

徳永 浮羽町域の3つの小学校について、今後の利活用は。



▲こどもたちの体も心も健康に

市長 早期の検討委員会の立ち上げに向け、調整を行っている。

その他の質問

▼小中学校における一人一台タブレット端末導入について、その効果と実態は



のづる おさむ
野鶴 修
議員

うきは市の
まちなか児童公園の
今後の整備計画について



令和9年度に提示する公共施設等総合管理計画
の中で示していく

市長

野鶴 まちなか児童公園の場所は、吉井体育センター並びにグラウンドが最適な場所ではないか

と思っています。「公園整備検討部会」で協議後、5年経過しているが、候補地がいまだ何ら提示されていない。

市長 第3次こども計画をつくったとき児童公園の在り方の意見をもらい、こどもみらい課で様々な機を捉えて、親御さんや子育て世代の皆様の声を伺っている。様々な観点を踏まえ今模索している段階。あと半年ばかり時間をいただきたい。

【うきは市の知名度アップに関する施策について】

野鶴 市長になって独自にうきは市をブランド化することへの施策は考えているのか。



▲公園で遊ぶこどもたち

市長 民間企業との連携を進め、観光誘客や知名度向上に取り組んできた。

野鶴 うきは市内事業所のトラックのコンテナにうきは市の宣伝をラッピングして、全国で走らせてみてはどうか。

市長 面白い取組だと思うので、前向きに検討したい。

総務産業常任委員会

農業に関する調査

< 農林振興課と意見交換 >

課 題

近年、担い手不足により、農業従事者が年々減少。農家戸数を比較すると、平成17年2,622戸だったのが、令和7年には1,311戸、20年間で半減。多様な農家の農地確保や法人の経営強化、農地の集団化・適正利用、生産性の向上、農産物の付加価値向上、人材確保などの対策を早急に講じる必要がある。

農業産出額

76億6千万円（令和5年度）で県内6位。
種類別の産出額県内順位では、柿・ぶどう・桃が1位を占めている。

農産物の盗難被害

JAとうきは警察署と三者協定を締結し、防犯カメラの設置に補助。市も防犯カメラを毎年、複数台設置。また、連携を図り、パトロールを強化中。

有害鳥獣

イノシシの駆除頭数が令和6年度598頭、7年度179頭に減少。
（豚熱の影響か？）
シカは令和6年度51頭、7年度145頭に増加。



物価高騰に関する調査

< うきは市商工会、福岡久留米農業協同組合、 市役所担当者（商工観光振興課・農林振興課）と意見交換 >

物 価

近年の円安や中東情勢の悪化に伴い、高騰が進んでいる。
令和初期より肥料40%、農薬15%、農業用資材20~40%値上がり、納期も遅延。

事業所

建設業では市内発注が少なく、資材の高騰もあり、市場の大きい市へ移る事業所が増えている。



農商工が将来にわたって継続できるよう支援していく必要がある。
さらに県・国へ要望を行っていく必要がある。

北海道上川郡東川町視察研修

参加者 熊懷和明・石井信一



東川町の水

今回視察した東川町は、大雪山の雪解け水などを水源とする名水で知られ、良質で美味しい地下水に恵まれた上水道のない町です。

過去、北海道では海外資本の土地買収が散見され、住民の貴重な財産である地下水の適正採取の規制と汚染防止が急務となりました。そこで「美しい東川の風景を守り育てる条例」に地下水の保全及び適正採取に関する条文を加え、違反者に対し許可取消しが可能となるよう改正し、現在も地下水の保全及び採取規制に取り組んでいます。平成19年度からは5年間に1度、全個別住宅・集合住宅を対象とした水質検査を実施しています。その成果もあり、検査を実施する度に基準をオーバーする箇所が減少しています。

うきは市でも、阿蘇山や耳納連山をはじめとする豊かな自然が作り上げた地下水が、我々市民の暮らしを支えています。今後、新たな基本計画を策定する中で、保全や利活用が課題となると考えます。



東川町ホームページ

厚生文教常任委員会

佐賀県多久市の市立義務教育学校

とう げん しょう しゃ

「東原庠舎中央校」を視察

主たる質疑

1 導入時に困難であったことは何か。

【回答】数多くの地域に出向き、事細かに説明していった。地域のご年配の方々から「まちが廃れる、活気が失われる」といった反対意見があった。一方、保護者、若い世代からは、「少人数で学ぶよりも様々な子どもたち同士の交流を深められる規模での学校に送り出したい」といった意見があった。市、教育委員会としては「先を見て進む」ということで、保護者にはこの課、地域住民にはこの課と分担しながら、繰り返し説明を行った。当初の開校予定年次よりも2年遅くなったのは、ここに時間を割いたことが大きい。

2 廃校後の活用について、公募にした理由や現在の活用状況等は。

【回答】地元の意見・要望を伺い利活用案を考える「地元検討委員会」を立ち上げ、協議を重ねた。協議を経て事業者を公募することが決まり、公募型プロポーザルを行ったが、応募は2業者のみ。公募したが、応募がなかったところは検討委員会の中で「地域としてどのように小学校跡地を利活用していきたいのか」と意見を聴いた。多目的グラウンドを整備し、スポーツ施設をメインとした施設をつくったところもある。

3 義務教育学校を今から設計するとしたら、「こうすると良い」という点はあるか。

【回答】保護者、地域と十分な対話を行い、理解を得て、それを基に動かしていく。また、学校運営協議会等と十分に協議をし、学校独自で動くのではなく、「地域と共にある学校」として動かしながら、学校の方向性を決定していくことが重要。また、統合の前から中学校と高校の連携は非常に強かったが、先生たちの間には「うちの校区」といった意識があった。そういった先生たちの垣根を払っていくことが重要。



中庭は低学年の遊び場

所見



児童生徒の様子について

中1ギャップについては、9年間同じ学校へ通学するため、現在ではあまり意識もされていないとのことだった。高学年ブロック（中1～3）の生徒が低学年ブロック（特に小1）の面倒を見るようになる、低学年・中学年ブロックの児童たちが高学年ブロックに憧れるなど、児童生徒の交流が活発に行われている様子をうかがうことができた。また、校舎内には各所にクールダウンできるコーナーが設けられるなど、児童生徒一人一人の個に応じた指導に努めている様子もうかがうことができた。

教職員の働き方について

教員の空き時間が増え、教材研究の時間を持てること、こどもとの時間を持てることは、こどもたちの学びの観点からも非常に好ましいと感じた。また、小・中学校それぞれの文化の良い点を踏襲することで、教職員が9年間という長期にわたる義務教育のゴールを想定しつつ指導に取り組める、という点についても、ぜひ、本市においても同様の状況を生み出せるように努めていきたいと感じた。

Voice 市民の声



浮羽町在住 伊福 麻由美さん

私は浮羽町に住む中3・中1・小1・年中のこどもの母親です。こどもたちを浮羽町の小中学校に通わせ、田舎ならではの教育環境と先生方の対応に助けられています。その一方、他の地域との教育格差などを感じることもあります。

また、看護師をしていて「家族で過ごす時間の大切さ」について考えさせられることがあり、「サイズアウトしたこども服を集め、必要とする人に持って帰ってもらう」という事業を始めました。場所は遊林愛児園さんの施設の一部をお借りしています。小さな行動ではありますが、物価高の今、洋服を買う分のお金を家族の思い出づくりの資金や教育資金に充てることができ、それがこどもたちの笑顔、さらに人口増につながれば…という想いで活動しています。

今後、うきは市も高齢化が進むと思いますが、子育て世代の人口が増えれば税収アップ、マンパワー増となり、高齢者の方でも大切にできるうきは市になると思います。一人一人が笑顔で暮らせるうきは市となりますよう、よろしくお願いします。



議会を傍聴しませんか。

- ▶ 12月の議会定例会は
12月4日(金)開催予定です。
- ▶ 一般質問は
12月7日(月)・12月8日(火)の予定です。
- ▶ 12月議会への請願書・陳情書は、11月24日(火)正午(予定)までに提出して下さい。



YouTube のライブ配信や
録画配信でもご覧いただけます。

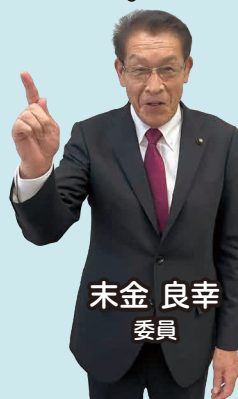


市の監査委員として 初めての 決算審査を終えて

CHECK!

初めての決算審査では、行政運営の適正性と健全性を確認する責任の重さを感じました。

市の業務は多岐にわたりますが、9月に行われた決算特別委員会の中で重ねて執行部の説明を聞き更に理解を深めました。



末金 良幸
委員

編集後記



表紙に登場していただいた浮羽町出身のプロボクサー、世界初挑戦の石井武志選手(大橋ボクシングジム所属)は何と国内男子世界戦最速、1ラウンド65秒でKO勝ちを収め、世界王者となりました！
去る9月10日にはうきは市役所を凱旋訪問され、世界の頂きに至るまでの道程を教えてくださいました。
時には孤独な日々もあったそうですが、信頼できる方々に囲まれ、世界戦へ臨むまでになられたそうです。こうして笑顔を見せていただけたこと、本当にうれしく思います。今後ますますのご活躍を、心より応援しています。



地域との意見交換会、
絶賛企画中!

さて、9月定例会では毎年前年度の決算審査を行い、事業の進め方、お金の使い方が適切だったのかどうかをチェックしています。皆さんが気になった事業はありますか？
(高木 亜希子)

発行責任者

議長 熊懷 和明

広報広聴委員会

委員長 竹永 茂美
副委員長 高木 亜希子
委員 石井 孝幸
須山 聡美
徳永 真理子
飯田 雅弘

議会事務局

TEL.75-4990

FAX.75-3342

11/13 御幸・11/27 山春・12/15 小塩 (予定)